

附 属 資 料

- I 広報はだの 特集記事 P187
- II 公共施設フォーラム 2020 開催結果 P188



進んでいます老朽化 進めています公共施設の再配置 vol.2

公共施設再配置のこれまでの効果や現在の状況などについて、平成28(2016)年3月に引き続きお知らせします。

1 ハコモノを導く・練る

一 進めています再配置～前期実行プランの成果一

「秦野市公共施設再配置計画」は、現在2020年までの第1期基本計画の期間中です。さらに、この期間を前期と後期に分割して計画を推進しています。

2015年までの前期実行プランでは、地域活動支援センターの民営化、保健福祉センターへの郵便局の誘致、なでしこ会館及び曾屋ふれあい会館の廃止、すずはり荘の地域への移譲など、一定の成果を挙げることができました。

この成果を数字で表すと、床面積の削減が、学校の教室30教室分に相当する約2200㎡、建設費と管理運営費の削減による効果額が約10億7700万円となります。

こうして数字を見ると順調に進んでいるように見えますが、現在推進している後期実行プラン(2016年から2020年)の目標値は、次のとおりとなっています。目標を達成するためには、前期実行プランを上回る成果を挙げる必要があることが分かります。

目標値	建設費	管理運営費	合計	削減面積
	1億4200万円	11億8600万円	13億2800万円	2300㎡



効果はあったけど、計画は始まったばかり。今後も将来の子どものために、がんばって取り組んでほしい!

みらいちゃん

2 地域で運営する

一 シンボル事業③ 小規模地域施設の移譲と開放一

「児童館」や「老人いこいの家」といった「小規模地域施設」は、地域に密着した大切な役割を担っています。しかしながら、①の削減面積の目標達成のためには、小規模地域施設をただ更新していくことは大変困難です。

そこで、地域住民との協働による機能維持を目的とし、地域の実情に合わせた、地域による自由度の高い施設運営を実現するため、地域(自治会等)への移譲を進めています。

- ・法人格を得た地域自治会に建物が無償譲渡(敷地が市有地の場合、無償貸付)します。
- ・自治会館として使用しながら、従前の機能の一部を自治会との協働により維持することが可能となります。

★平成28(2016)年4月「老人いこいの家すずはり荘」移譲

★平成29(2017)年9月「沼代児童館」移譲

沼代自治会館(旧沼代児童館)の利用形態

児童福祉法に基づく児童館よりも、多機能で多用途な地域のためのコミュニティ施設への転換を図りました。

なお、児童館活動については、市が児童厚生員を派遣しています。

	午前	午後	夜間
2階	自治会専用スペース(サロン活動・会合・事務所)		
1階	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ保育 ・児童館 ・一般開放など ・自治会 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館 ・一般開放など ・自治会 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会



沼代自治会館

3 新たな機能の創出

一 はだのっ子への贈り物～スマートライブラリーの有効活用一

平成29(2017)年12月24日、クリスマス・イブの日に、受験用の参考書・問題集を貸し出す「無人貸出しサービス」を備えた新たな学習室がはだのこども館にオープンしました。

この機能は、「スマートライブラリー実証実験」で使用した無人貸出機をこども館学習室に移設したものです。ふるさと納税の制度を利用したクラウド・ファンディングを実施し、趣旨に賛同する全国の方々からの寄付を募って、移設等の費用約478万円を調達しました。

また、参考書・問題集は市内企業からの寄付金100万円を活用して購入していますので、まさに全国のサンタからの「はだのっ子への贈り物」といえます。

きっかけは、「スマートライブラリー実証実験」で、無人による貸出しサービスが高校生に好まれたことです。家庭環境に左右されない学習環境を提供し、青少年の健全育成を図るという目的に、多くの人が賛同してくださった結果でもあります。

こども館学習室を利用して受験勉強に励んだ「はだのっ子」たちは、応援してくださる方が大勢いることを知り、社会への感謝を胸に大人になることと思います。公共施設の再配置の一環として実施した「スマートライブラリー実証実験」から、心温まる新たな機能が生まれました。



貸出機と返却機



再整備された学習室



つなぐ君

机やいすもきれいになって、より勉強できる環境になったよ。機械を使って気軽に貸出し・返却ができるので、受験生に好評!

4 公共施設再配置の推進

一 まもなく実現! 現在の取り組み一

再配置に関する効果額や、これまでの実績を見ていただきました。ここでは、現在進んでいる公共施設再配置に関する事業を紹介いたします。

西中学校多機能型体育館の整備

西中学校の武道場と西公民館の機能に加えて、地域防災機能を備えた多機能型体育館を、将来的な小中一体化を見据えた規模で整備しています。2年後(2020年)の秋に完成予定となっています。



西中学校多機能型体育館イメージ図

みなみがおか幼稚園を公私連携幼保連携型認定こども園に

昭和57(1982)年4月に開園したみなみがおか幼稚園は、幼児教育上の集団性の確保と、高まる保育ニーズへの対応などから、社会福祉法人が運営を担う公私連携幼保連携型認定こども園として来年4月に生まれ変わります。

園舎は運営する社会福祉法人に譲渡しますが、土地を貸し付けることで年額約350万円の収入があるほか、公共施設の床面積と運営経費の削減効果も見込めます。



こども園となるみなみがおか幼稚園

～ 今後10年間で多くの公共施設が建替え時期の目安を迎えはじめます ～

施設名	延床面積	建築年度	築年数
南小学校東棟	248㎡	昭和30(1955)	63年
本町幼稚園北棟	218㎡	昭和37(1962)	56年
西幼稚園中央棟	178㎡	昭和41(1966)	52年
西幼稚園西棟	326㎡	昭和41(1966)	52年
西小学校北棟	2346㎡	昭和42(1967)	51年
西中学校中央棟	2749㎡	昭和43(1968)	50年
広畑小学校体育館※	778㎡	昭和49(1974)	44年
渋沢小学校体育館※	788㎡	昭和50(1975)	43年
大根小学校体育館※	764㎡	昭和53(1978)	40年
本町小学校体育館※	913㎡	昭和55(1980)	38年
南小学校体育館※	763㎡	昭和55(1980)	38年
上小学校体育館※	763㎡	昭和55(1980)	38年

※鉄骨造(無印は鉄筋コンクリート造)

左の表は、今後10年間で建替え時期の目安となる築年数(鉄筋コンクリート造:60年、鉄骨造:45年)を迎える主な公共施設の一覧です。すべての施設で耐震性は確保されていますが、費用の平準化を図るため、建替え時期を迎えた施設は、小・中学校を中心に地域のコミュニティ機能を付加して複合化することを基本として、具体的な建替え時期については、周辺の公共施設の老朽化の状況などから総合的に判断することになります。

人口急増期に集中して建ててきた公共施設は、老朽化が進行しています。施設の建替え費用のほか、大規模な修繕や改修のためにも多額の財源が必要です。市では、財政運営がより厳しいものとなる中で、床面積を削減しながら公共施設の機能を適切に維持していくための取組を進めています。



「未来につなぐ市民力と職員力のたすき」丹沢つなぐ君

公共施設再配置の取組は、市のホームページで詳しく紹介しているよ。

「秦野市公共施設再配置」で検索してね。



問い合わせ 公共施設マネジメント課 ☎(82)5122

Ⅱ 公共施設フォーラム 2020 開催結果

公共施設再配置計画第2期基本計画（以下、「次期計画」といいます。）を策定するに当たり、公共施設再配置計画第1期基本計画後期実行プラン（以下、「現計画」といいます。）が示している集約化の方向性を改めてご説明するとともに、将来の公共施設のあり方について地域の皆様の意見をお聞きするために、「公共施設フォーラム2020（以下、「フォーラム」といいます。）」を開催しました。

開催結果の概要は次のとおりです。

1 開催日程及び参加人数

令和2年10月17日（土）から11月7日（土）にかけて、6日間12会場で開催し、参加人数の合計は119名でした。

開催日程		会場	参加人数
10月17日（土）	13時～	西公民館	15名
	15時30分～	渋沢公民館	5名
10月18日（日）	10時～	本町公民館	11名
	14時～	北公民館	8名
10月24日（土）	10時～	堀川公民館	10名
	14時～	東公民館	11名
10月31日（土）	10時～	上公民館	14名
	14時～	広畑ふれあいプラザ	6名
11月1日（日）	10時～	大根公民館	6名
	14時～	鶴巻公民館	11名
11月7日（土）	10時～	南公民館	12名
	14時～	南が丘公民館	10名
合 計			119名

2 意見及び質問の概要

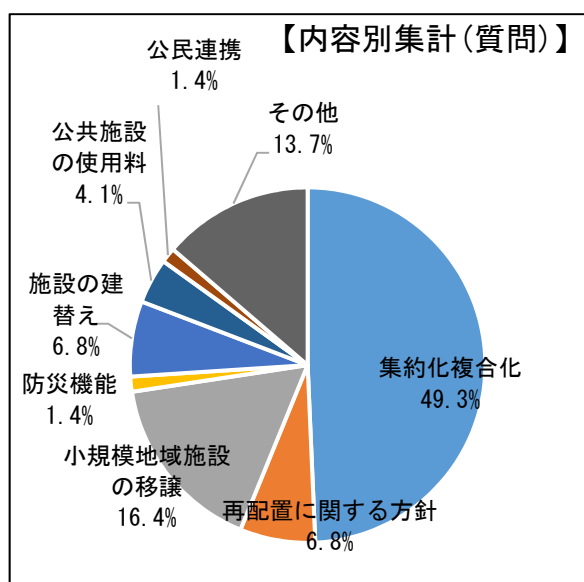
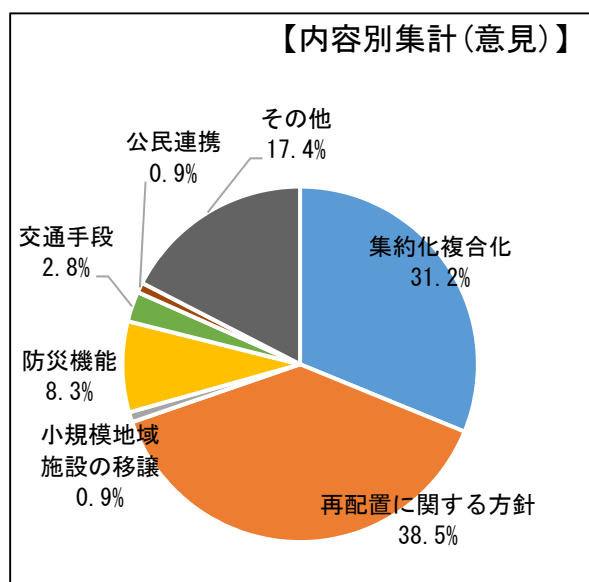
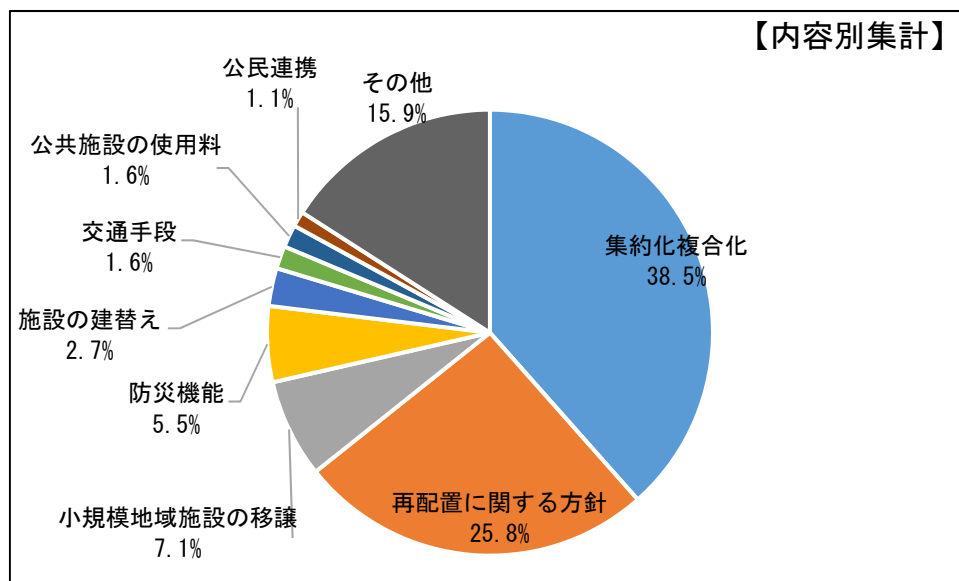
各会場において直接いただいた意見や質問（以下、「意見等」といいます。）のほか、フォーラム終了後に提出していただいた意見も合わせて、意見が109件、質問が73件、合計182件となりました。

(1) 内容別の集計

意見等を内容別に集計したところ、「施設の集約化・複合化」が70件、38.5%と最も多く、次いで「再配置に関する方針」が47件、25.8%となりました。

表-1 フォーラムで寄せられた意見・質問の内容別集計

種別	集約化複合化	再配置に関する方針	小規模地域施設の移譲	防災機能	施設の建替え	交通手段	公共施設の使用料	公民連携	その他	合計
意見	34	42	1	9		3		1	19	109
質問	36	5	12	1	5		3	1	10	73
合計	70	47	13	10	5	3	3	2	29	182



現計画でシンボル事業としている「小規模地域施設の移譲と開放」が13件、7.1%と3番目に位置しています。意見と質問に分けた内訳をみると、意見では全体の0.9%ですが、質問では16.4%と割合が上昇していることから、市民の間に制度やその実際の運用など、現計画の内容が浸透していない傾向が伺え、移譲が進まない要因の一つであるとも考えられます。

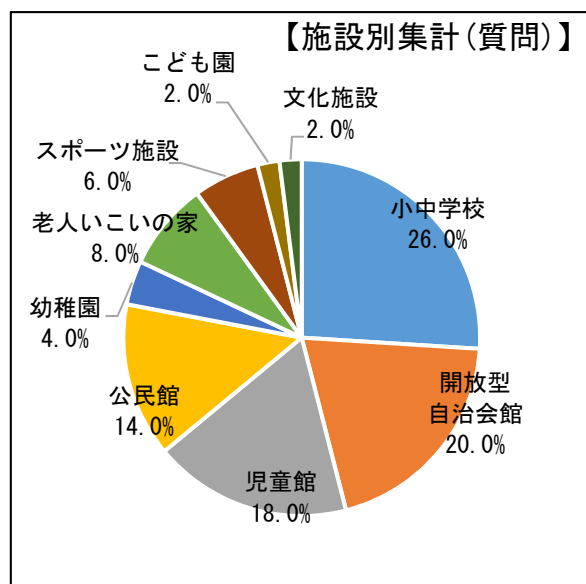
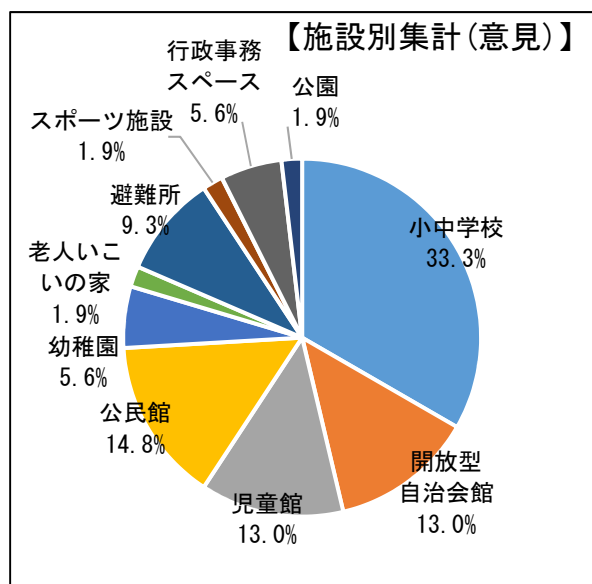
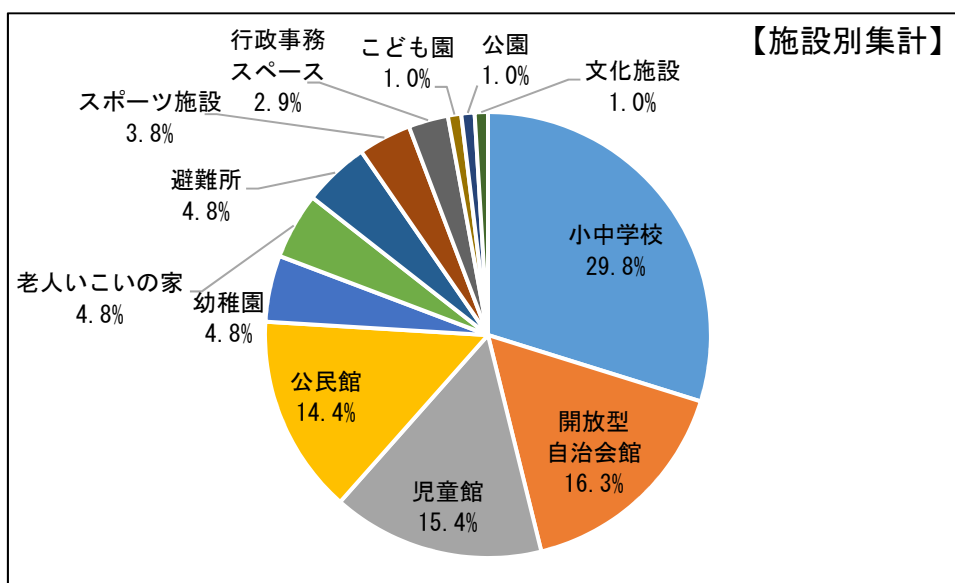
さらに、近年の自然災害の発生を受けて、防災機能に関する質問等が10件、5.5%と4番目に位置していることから、この点も踏まえて次期計画を策定していく必要があると考えられます。

(2) 施設別の集計

意見等を施設別に集計したところ、「小中学校」が31件、29.8%と最も多く、次いで「開放型自治会館」が17件、16.3%となったほか、「児童館」が16件、15.4%で3番目に位置しています。

表-2 フォーラムで寄せられた意見・質問の施設別集計

種別	小中学校	開放型自治会館	児童館	公民館	幼稚園	老人いこいの家	避難所	スポーツ施設	行政事務スペース	こども園	公園	文化施設	合計
意見	18	7	7	8	3	1	5	1	3		1		54
質問	13	10	9	7	2	4		3		1		1	50
総計	31	17	16	15	5	5	5	4	3	1	1	1	104



各会場では、地域コミュニティの中心施設となる小中学校の集約に関する意見等のほか、自治会館のない地域では小規模地域施設を集まりの場としても活用しているため、機能を移転して廃止されると地域での活動に大きな影響があ

ること、移譲といっても自治会の会員数や財政力が異なり、小規模な自治会では受け入れが困難なこと、市内全域での画一的な機能移転ではなく、地域の実情に応じた集約化を検討してほしいなどの意見をいただいています。

3 次期計画策定の方向性

「2 意見及び質問の概要」では、意見等を内容別、施設別に集計した結果を示しましたが、会場ごとに多く出された意見等もあるため、いただいたご意見を参考にしながら、次期計画の策定作業を進めていくこととします。

将来の地域コミュニティの中心施設となる「小中学校」や、市民の活動の場となっている「公民館」のほか、意見等が多く出された「小規模地域施設の移譲と開放」や「防災機能」などについて、地域の状況を踏まえ、実現可能なプランとしていく必要があると考えています。

4 各会場での意見等（開催順に掲載）

会場	意見等の内容	種別	市の回答
西 公 民 館	小中学校は一体化しないとなっているが、この方向性なのか。	質問	次の計画で、人口の推移や費用の試算などを含めて見直しを図るために意見を伺っています。また、次期計画の具体的な内容は、年度末に再度開催するフォーラムで改めてご意見を伺う予定です。
	建て替え時期を迎えても、児童生徒が学校に来て授業を受けることになっている。リモートを前提とした建て替えとすればコストが削減できるのではないか。フレキシブルな視点を入れる必要があるのではないか。	意見	国からそのような方向性が出るのであれば、市としても考えなければならないと思います。
	2020年までの目標値があるが、達成できているのか。	質問	昨年度末時点で面積は目標値を超えています。
	10年ごとに数値目標があるが、次の計画ではこの数値はどうなるのか。	質問	2060年までの40年間の試算となるため、内訳としての10年ごとの目標値も変わってくることになります。
	今後、公共施設を建設するに当たり、コロナ対策、災害発生時の対応をどのように設計に生かすのか教えてほしい。	意見	(意見提出用紙による意見)
	義務教育学校化には多くのメリットを感じている。西公民館の複合化をモデルとしてどんどん進めていければよいと思う。	意見	(意見提出用紙による意見)
	施設を廃止、または学校と複合化しなくても、公民館を駅に、公共施設に郵便局を、など、もっと別の方法はあると思う。	意見	(意見提出用紙による意見)
	今後はPFI方式等を積極的に利用することを考えてほしい。	意見	(意見提出用紙による意見)

会場	意見等の内容	種別	市の回答
	現在小中一貫が叫ばれているが、その点を反映させる必要がある。	意見	(意見提出用紙による意見)
	集約、面積削減で機能を残すことができるのか。	意見	(意見提出用紙による意見)
	リモート先進モデル校を作り、実験校とすることで将来の公共施設像に役立てることができると思う。	意見	(意見提出用紙による意見)
渋沢公民館	市役所は大きすぎるのではないか。縮小化していく必要があるのではないか。	意見	現段階では建て替えの具体的な計画はありませんが、技術の進歩や人口減少で職員も減ると考えられますので、適正な規模とする必要があると考えています。
	渋沢中学校は将来老人福祉施設になるような話を聞いているが、このようなことも考えていかないといけないのではないか。	質問	調整区域のため、転用できる施設には限りがあり、地域の意見もうかがったうえで検討していく必要があると考えています。 仮に福祉施設になるとしても、市が直接運営するのではなく、民間に貸して賃料を得るなどの方法もあります。
	開放型自治会館に児童館を移転していくイメージだが、自治会館がない地区はどうするのか。	質問	今ある自治会館だけを対象としているわけではなく、これから建てるかもしれない自治会館も対象としています。また、開放型は貸館機能を持っていますので、施設の廃止等があった場合の代替機能を果たしてもらうことも期待しています。
	将来的には施設を縮小していく必要があり、このことは前向きに考えるべき。	意見	規模を縮小しながら、中身は充実させて「縮充」していく、そのための手段が再配置計画だと考えています。
	しぶさわ幼稚園の変化を近くで見えてきた。最近では西中体育館と西公民館を見せてもらったが、渋沢小学校もこのようなステップで進んでいくと思って見ている。渋沢公民館の機能が小学校に入るとありがたい。	意見	学校施設の建て替えが集中する時期まで15年ほどですが、次の計画で方向性を示さないと具体的な検討ができないと考えています。機能の集約にはいろいろなご意見があると思いますが、よくお聞きしたうえで計画を策定します。
	廃止した施設があるという説明だったが、廃止する中で反対意見などはあったのか。	質問	曾屋ふれあい会館で反対が多かったと聞いています。反対も含めていろいろなご意見を伺いながら進めました。
	今までは個別に施設を建ててきたが、将来を見据えて縮小していくのは当たり前。	意見	
	計画の内容が具体的になったら大変な仕事になると思うので、頑張って進めてほしい。	意見	
	公共施設の駐車場を有料化すれば財源が増やせる。	意見	(意見提出用紙による意見)

会場	意見等の内容	種別	市の回答
	公立幼稚園と公民館による生涯学習機能の充実が秦野市の良いところだが、限られた予算の中でどう運営していけば良いのか。	意見	(意見提出用紙による意見)
本町公民館	本町小中エリアと末広小エリアで分けているがどのような意味があるのか。	質問	現在の計画では、13の小学校区にカルチャーパークと保健福祉センター周辺を追加した15のエリアを地域の拠点としているため、このような区分けとなっています。
	既存の施設を有効活用して、避難所として二市組合の事務所も使用できるように検討してほしい。	意見	学校や公民館だけではなく、使える施設は避難所としていく検討も必要だと思います。また、廃止した後の施設や県の施設の活用も検討していく必要があると考えています。
	人口減少はあると思うが、「秦野に住みたい」「秦野でお金を使う」といった攻めの施策を打ち出してほしい。	意見	今のままの面積で建て替えると多額の不足が発生しますので、面積を削減していくこととなりますが、小さくしながらも中身は充実させる「縮充」を目指す必要があります。充実の部分は総合計画の中で位置づける施策もあると思いますので、総合計画と再配置計画のリンクを意識して進めていく必要があると思います。
	水害関係では、去年曾屋高校を避難所として使えたことは非常にありがたい。二市組合もいろいろと難しいこともあると思うが検討してほしい。	意見	
	9ページの方針4に「ハコと機能の分離」とあるが意味がよくわからない。	質問	将来に残していくのは建物ではなく、建物が持つ機能である、ということを強調した記載です。
	施設の建て替えに当たっては、ユニバーサルデザインを採用したほうが良い。	意見	学校の建て替えが本格化するのは15年程後であり、バリアフリーだけではなく、スケルトン方式もイメージしています。実際に建て替える際には、ご指摘のユニバーサルデザインの採用なども検討することになると思います。
	建て替える際には木造としたほうが長持ちすると思うので、検討してほしい。	質問	市の建物で木造のものとしては表丹沢野外活動センターがありますが、維持管理に手間がかかるイメージがあります。松田町では校舎を3階建ての木造で建設していますので、このような事例も参考に、木造でも良い建て方があるのであれば検討していく必要があると思います。

会場	意見等の内容	種別	市の回答
	<p>建物には本来持つ機能のほか、学校であれば避難所としての機能がありますが、末広小学校はこの機能が發揮できない立地なので、このようなことを考慮して建て替えを進めてほしい。</p>	意見	
	<p>市役所の建て替えでも、ひとつにまとめて大きくして空いた部分を市営住宅にするなど、財源を得ることも考えたらどうか。</p>	意見	<p>人口減少で職員の確保が難しいことや、デジタル化も進むため、市役所の面積は小さくなっていくと思います。空いた部分は売る、貸す、ほかの施設を建てるなど、考えていく必要があると思います。</p>
	<p>集約化した際に考慮してほしいのは交通手段。乗り合いバスや電動自転車の購入費用補助など、施設が遠くなっても対応できるようにしてほしい。</p>	意見	<p>施設が減る中では当然出てくるご意見だと思います。このようなことを念頭に置いて進めていく必要があると考えています。</p>
	<p>少子化や人口減少による税収減により、公共施設の費用を有効に使用するためには基本的に理解（賛成）。 年金生活ですが、年金にも税金がかかり、固定資産税もあるため、税金の有効活用を希望します。 既存施設の有効活用としてクリーンセンターを避難所として使用できるようにしてほしい。 人口減少に対する施策として、自然のPR、ふるさと納税など。</p>	意見	<p>(意見提出用紙による意見)</p>
	<p>県の施設の有効活用を再配置計画で考慮してほしい。 既存の施設だけではなく、土地開発公社が所有している土地（特に空き地）についても有効活用できるようにしてほしい。</p>	意見	<p>(意見提出用紙による意見)</p>
北公民館	<p>公共施設の使用料を値上げしたが、これによって利用が減っていると聞いた。使用料を下げること、高齢者の健康の維持、医療費の削減につながるのではないか。</p>	質問	<p>ご指摘のとおり見直し後は稼働率が落ちていますが、利用団体の高齢化もあり、はっきりした因果関係は不明です。見直し時には値上げの対応策として、高齢者と子どもの個人利用を無料化しましたので、個人では利用しやすい状況となっていると思います。また、高齢者の利用を無料にしたかどうかという指摘が過去にあり、簡易なアンケート調査をしましたが、施設の利用頻度と医療費の抑制には相関関係がないという結果となっています。</p>

会場	意見等の内容	種別	市の回答
	資料によると、使用料や補助金は財源の18%程度しかないということなので、使用料収入は施設の維持にあまり影響しないといえると思います。むしろ、どうしたらみんなが利用して、施設の設置目的を達成できるのか、というところにウェイトを置いてほしい。	質問	使用料等の財源としての割合はご指摘のとおりです。また、アンケート調査では、施設を月に1回以上利用する人の割合は30%以下となっています。市の負担分は利用しない方も含めた市民の税金から支出していますので、利用者の方に一定の負担をしていただくことで、適正な負担を目指しているものですので、ご理解いただきたいと思います。
	床面積を削減したら金額的にどの程度削減になるのか。 また、今後に向けて、機能の移転や施設の廃止を進めたら削減目標に達して、費用の不足が解消される、という説明をしてほしい。	意見	再配置計画は計画を進めながら費用を生み出していくもので、今かけている費用の中で建て替えを進めるためにはどうしても床面積を削減していく必要があります。今までの効果額としては17億円ほど、削減面積は2,069平方メートルとなっています。
	建て替えができないということはわかるが、施設の寿命の延長は可能なのか。	質問	国が長寿命化として勧めていますが、長寿命化すると建て替え費用の支払時期がより支払い能力が低くなる時期に先送りとなるため、単なる長寿命化はしない方向としています。
	9ページの優先度の行政事務スペースについて、デジタル化の推進で削減を行ってほしい。	意見	デジタル化で窓口の簡素化なども進み、電子申請も広がると思います。このようなことで行政事務スペースは小さくなっていくと思います。
	9ページの優先の機能は、これからの秦野を作る重要な部分になると思うので、将来の可能が高くなるような機能を位置づけてほしい。	意見	アンケート調査では、残したい施設として、図書館、文化会館、公民館、カルチャーパーク、おおね公園、保健福祉センター、総合体育館の7施設が上位をずっと占めていますので、この施設の機能を優先的に残していくべきなのではないかと考えています。
	21ページのイメージ図ですが、10年間の進捗状況はどうか。	質問	この図は計画策定時に40年後の姿をイメージしたもので、10年間の計画期間での実施内容ではありません。実際に建て替え時期が到来する施設がないとイメージのとおりに進まない面があります。また、次の計画ではこのイメージに「いつ」という時期を明記していきたいと考えています。

会場	意見等の内容	種別	市の回答
	横野児童館、三屋台児童館、くずは荘は耐用年数に達しているが、これらの施設についてどういう取り組みをしてきたのか。	質問	建て替え支援は開放型自治会館に児童館機能を移転していくためのもので、沼代や千村の自治会館では児童館機能が移転されています。老人いこいの家は、所管課からお話をしていますが、宿題として残っている部分です。
	人口減少の中で、自治会としては施設を受け入れるのがより難しくなっていると思う。そういう中で時間だけが過ぎて建て替え時期を過ぎていると思う。	質問	小規模地域施設については移譲を進めていくことを制度化していますが、ご指摘のとおりなかなか進んでいない状況です。ただ、建て替える予定の施設ではないため、今後どうしていくのか検討していく必要があります。
	計画を進めるメリットはあると思うが、デメリットは考えているのか。	質問	他の会場では、廃止によって施設まで遠くなるため、交通手段の確保を検討してほしいという意見をいただいています。 今後、建て替えによって建物の規模は縮小していきますが、その中身は充実させていく必要があります。再配置計画は目標ではなく、充実した生活のための手段ですので、想定されるようなデメリットを解消しながら進めていかなければならないと思っています。
	西公民館の建て替えは計画に基づいて実施されたのですか。	質問	はい。シンボル事業の位置付けで、当初は公民連携手法で建て替える予定でしたが、民間事業者の辞退によって市で建て替えた経過があります。
	そのような西公民館の建て替えの経過などは公開されているのか。	質問	今の西公民館の建て替えについてはあまり公開している情報はないと思われませんが、施設がオープンしたので、良い点や悪い点も出てくると思います。こういった点を把握して、地域の皆様にもお知らせし、建て替えを検討していく必要があると考えています。
	神奈中が高齢者向けのパスを発行していると思うが、これに対する補助などがあれば良いと思う。	意見	
	削減計画にリンクした金額評価見通しが見えない。	意見	(意見提出用紙による意見)
	地区の具体的な案をもって検討会を行ってほしい。	意見	(意見提出用紙による意見)
	財政の確立が重要で、将来に負債を多く残さないことが必要。	意見	(意見提出用紙による意見)

会場	意見等の内容	種別	市の回答
	<p>公共施設の利用料減額を。 利用団体が利用回数を減らすと参加者の社会的接触が減り、健康に影響して医療費に影響する。 施設利用者が増えれば病気になる人が減り、医療費を抑えられる可能性があると思われる。</p>	意見	(意見提出用紙による意見)
	<p>児童館等の建て替え支援又は廃止の予定を示してほしい 開放型自治会館を建てるために自治会が貯蓄する必要がある</p>	意見	(意見提出用紙による意見)
堀川公民館	<p>人口の推移と新総合計画の人口が違う。人口によって施設の規模が決まるので、統一的な数字を使うべき。</p>	質問	出典が異なっているためですが、計画策定時には市の統一的な推計を使用する予定です。
	<p>現在の計画のイメージが示されているが、次に向けて見直しなどの考えがあれば教えてほしい。</p>	質問	40年後の姿を描いたものですが、それぞれの施設について「いつ」ということが記載されていないので、次の計画ではこの点をお示ししたいと考えています。
	<p>児童館や老人いこいの家についてどうなるのか気にしているが、具体的な時期などが明らかになることを期待している。</p>	意見	
	<p>最優先とされている子育て支援の機能は具体的にどういう施設なのか。児童館は含まれるのか。</p>	質問	幼稚園、こども園が対象で、児童館は含まれません。
	<p>施設の建て替えに当たって、リノベーションで費用を削減する手法もあると思うがこのようなことも検討対象なのか。</p>	質問	国が「長寿命化」と言っているもので、建て替えよりもその時期にかかる費用は抑えられますが、建て替え時期が20年ほど延びることで、より人口減少が進んだ時期まで支払いが続くため、あまり考えていません。
	<p>10年前のイメージはわかったが、これからの地域のイメージがよく分からない。</p>	質問	現在の計画では15の拠点を将来の地域コミュニティのエリアとしています。次の計画ではこのイメージ図に時系列を追加していきたいと考えています。
	<p>学校には避難所としての機能もあるが、防災課との整合性は取れているのか。</p>	質問	学校が小さくなる場合には当然避難所としての機能について調整を図る必要があると考えています。
	<p>公民館がこんなに揃っている市はほかにはないので、プラス思考の施策をみんな考えていきたい。</p>	意見	必要な機能をどのように残していくのか、地域の意見もお聞きして考えていかなければならないと思っています。

会場	意見等の内容	種別	市の回答
	開放型自治会館の要件、管理人を置く、開放時間を明確にするなど厳しすぎるので、自分のところでは開放型をあきらめた経過がある。	質問	市の方針としては、自治会館の建て替えに合わせて開放してもらえれば、ということで制度化したものです。実際に、児童館やいこいの家は、本来の目的だけではなく、自治会館的な利用もあると認識しています。
	開放型自治会館について、補助金は手厚いがその後の市のフォローがないことが問題。所管課も含めて検討してほしい。	意見	
	行革の視点だけではなく、公民館に新しい機能を入れていくのではあれば、これをチャンスと捉えて新しい公民館像を出していく必要があると思う。	意見	
	人口が減るので税収も減ることが前提となっているが、税収を増やすということもほかの部分で考えていると思う。これを無視して計画を策定すると暗いものになると思うが、庁内で調整を図っているのか。	質問	40年の期間で試算していますが、次期計画の期間は10年で、さらに前半後半の5年ごとに実行プランを定めますので、社会情勢の変化などがあれば計画の内容を見直すことにしています。
	5年間の計画の中で、毎年ローリングをしていくのか。	質問	具体的な実行プランについては毎年見直しを図ります。
	企業は利潤を追求しますが、自治体が追及するのは住民の満足度なので、これを目標に進めてほしい。	意見	
	具体的な集約化の年次については、十分に検討してほしい。	意見	(意見提出用紙による意見)
	さらに進む少子高齢化に備えて、施設を縮小しても機能や住民サービスを充実・維持できるよう引き続きこういったフォーラムなどでの意見・要望をふまえてより良いものとなるよう努力をお願いします。 「縮充」とひとりひとりが「ウェルリビング」となるよう、もっと自分事として考えていきたいと感じました。	意見	(意見提出用紙による意見)
	全体的に明確には理解できない。 ハード面だけの説明で、ソフト面でどうするのか不明、消化不足感がある。	意見	(意見提出用紙による意見)
東公民館	コロナの影響で施設の定員が半分になり、公民館が使えず、学校開放は既に他の団体でいっぱいな状態。人口が減っても団体が減るわけではない。統廃合で施設が減った場合、先に使っていた団体が優先となってしまったら困る。このあたりの考えはあるのか。	質問	できるだけ皆さんが使いやすい方法を考える必要があると思っています。

会場	意見等の内容	種別	市の回答
	音が出る活動をしていて、場所も探しているが、近隣への迷惑のため使用できない施設も多く、外で活動するしかない。歴史ある団体で、入団者がいなくて存続できないのであればしょうがないが、活動ができなくて存続が不可能というのは困る。建て替えるのであれば、近隣住民と施設利用者の兼ね合いも考えてほしい。	意見	公民館でも防音の部屋があるところもありますが、全ての部屋で音が出せるわけではありません。今後建て替える際には、いろいろな機能が支障なく活動に使えるように考えていく必要があると思います。
	開放型自治会館、公民館検討はどのような意味か。また、児童館は建て替え支援ともあるが、一方的にこう書くのもどうなのか、説明をお願いしたい。	意見	建て替え支援は児童館の建て替えではなく、開放型自治会館への移行を支援する、という意味です。開放型自治会館は、今ある自治会館に開放機能を持たせたものを開放型としています。公民館検討は市が運営するのではなく、いろいろな形で地域や事業者と連携した中で運営をしていくことを想定しています。
	谷戸児童館について、10年前から話が出ていたが、何も進んでいない、ということなのか。	質問	谷戸児童館について、いつ壊します、という予定があるわけではありません。児童館と老人いこいの家については、引き取ってくださるのであれば無償でお渡しする、という体制を作ったもので、一部委譲が実現した施設もあります。 開放型自治会館については、10年前と状況も変わっていて、加入者が減っている自治会もある中、強制的に受け取っていただくこともできませんので、このような状況になっています。
	人口減少によって再配置が必要ということだが、東公民館を建てた当時と今後の人口はあまり変わらないのではないのか。住民サービスにもしっかりお金を充ててほしい。	質問	総人口は将来と昭和55年当時はあまり変わらないかもしれませんが、生産年齢人口の比率が大きく違います。1人の高齢者を11人以上で支えていた時代から、2人以下で支える時代となり、このような負担の中で今の規模の施設を維持できないということがあります。再配置計画は今施設に使っているお金の範囲内で建て替えを進めていくもので、ほかのことに使うお金を見越して、施設の建て替えに使うお金を制限しているため床面積を減らしていくこととなります。 規模を縮小しながらも中身は充実させていきたい、その充実策を総合計画などで位置づけていくことになると思います。

会場	意見等の内容	種別	市の回答
	学校を縮小していくということだが、コロナの関係で少人数学級が必要でクラス数が増えていくかもしれないが、どうなのか。	質問	少人数学級の必要性が高まる可能性はあります。法改正などによって制度化されれば計画を見直す必要があると考えています。
	一律の対応ではなく、地域の特性を踏まえて計画を策定してほしい。	意見	
	参加者が少ない。周知の仕方がどうだったのか、また、計画書などが置いてあるが、目にした人がどれだけいるのか疑問がある。あまりにも市が考えていることを知ろうという気にさせてもらえない。もっと地域の人に伝わるような開催方法などを考えてほしい。	意見	
	ホームページをご覧ください、というのは高齢者には無視されていると感じる。	意見	
	コロナに対応した公共施設の在り方も含めた計画が必要だと思う。 人口減少により施設のあり方は当然だが、地域としては活性化に取り組んでいるところもあり、その辺のバランスを考えた計画が必要となる。	意見	(意見提出用紙による意見)
	楽器演奏ができる施設がこれ以上減ってしまうと活動が続けられない団体もあります。統合の際は配慮をお願いします。 感染症対策として定員の半分の利用できないと予約できないルールとなっているため、ラップ鼓隊はけやき広場での活動のみとなっています。 学校などの体育館を利用しようと思っても入り込める余地がないのが事実です。 今後の事業計画でそのあたりもご検討いただきたいです。	意見	(意見提出用紙による意見)
上公民館	年度ごとに数値目標やシミュレーションができていくのか。	質問	9 ページに 10 年ごとの数値目標がありますが、1 年ごとに積み上げているもので、次の計画でも同じように設定していく予定です。
	柳川児童館とかわじ荘の機能を上公民館に、となっているが、どの程度具体化されているのか。	質問	柳川児童館の機能移転は具体化していません。かわじ荘については、所管課から移譲のお話をさせていただいておりますが、具体的にいつ、という話には至っていないと認識しています。 人口が多い地域もあれば、そうではない地域もありますので、今後については、地域ともお話しさせていただいてよい方向に進めたいと考えています。

会場	意見等の内容	種別	市の回答
	<p>かわじ荘は元々青年会館あるいは自治会館的な役割をしていたところに、国の方針によってかわじ荘となった経過がある。今のイメージではこのかわじ荘を八沢の自治会館としていく方向だと思うが、この地区は人口が減っていて受け取ることはできないと投げかけているところ。</p> <p>また、上地区のように広い地区に分散して施設がある場合、分散していることに意味があり、意見交換している中で移譲の話は保留しているという状況にある。</p>	質問	<p>老人いこいの家と児童館は小規模地域施設として制度化したもので、移譲が進んだところも進んでいないところもあります。地域によって事情が異なることは市も認識していますが、一方で施設の建て替えが難しいということも、ある程度理解していただいているのではないかと思います。</p> <p>今後に向けてどのようにしていけるのか、お互いにとって良い形をとれないのかなど、ご意見をうかがえる機会を作りたいと考えています。</p>
	<p>削減していったときに、施設の廃止によって距離が遠くなり、どれだけ住民の負担が増すのか、といった点も明らかにしてほしい。</p>	意見	<p>他の会場では、公共交通の充実や電動自転車購入の補助などのご意見もありました。再配置の結果不便になってしまう地区が出てくることも想定していますが、対応策を検討していく必要があると考えていますし、市民の皆様のアイデアもお聞きしたいと思っています。</p>
	<p>上幼稚園のイメージに公民検討とあるが、公設公営ではない施設があるのか。</p>	質問	<p>現在は上小学校に上幼稚園が入っているので、公民検討という考えは薄まっていますが、みなみがおか幼稚園は公私連携幼保連携型の認定こども園に移行しているほか、しぶさわ幼稚園がこども園化した際には旧渋沢保育園を社会福祉法人に売却して私立として運営しています。なお、みなみがおか幼稚園は公私連携型なので、教育・保育の内容等について市も関わっている形です。</p>
	<p>かわじ荘と柳川児童館は建て替え時期を過ぎているがどうするのか。</p>	質問	<p>木造施設の耐用年数は30年としています。ほとんどの施設が平屋建てのため、耐震性に問題がない場合が多く、耐用年数を超えて使っていたりしている状況ですが、修繕費用の問題もあります。</p> <p>今後のあり方については、改めてご意見をいただきながら良い方向を探っていきたいと考えています。</p>

会場	意見等の内容	種別	市の回答
	このフォーラムを開催しているということは、例えば上小学校の廃校を覚悟してほしい、ということなのか。また、自治会長として今日の話地域に伝えてほしい、ということなのか。	質問	今回のフォーラムでは今の計画の内容以外は説明していません。次の計画の参考とさせていただくために開催しているもので、ご意見をもとに集約化の素案をまとめて、具体的な施設の方向性を示した中で改めてご意見をいただく予定です。 また、地域でこの内容をお伝えいただけると助かりますが、個人的なご意見を寄せていただきたい、ということでフォーラムを開催しています。
	次の段階となる具体的な案については、地域の人意見が相当出ると思うので、できるだけ多くの人を集めて意見を聞くのが「フォーラム」だと思う。	意見	
	開放型自治会館について、自治会に移譲するということが、各自治会にはお金がなく、柳川では自治会費が年間8,000円、もっと高い地区もある。自治会の状況を把握しないと計画は絵に描いた餅になる。また、公共交通の状況など、地域の実情を見て計画を策定してほしい。各地区同じような計画をやめてほしい。	意見	次の計画で具体的な案を示したいと考えていますが、個別の施設の事情を考慮した部分も含めて、ご意見をもとに反映させていく必要があると考えています。
	大きな計画はわかりましたが、具体的にならないと意見が出ません。 具体的になったらより多くの住民の参加が必要だと思います。	意見	(意見提出用紙による意見)
	再配置計画による住民負担を明確にしてほしい。	意見	(意見提出用紙による意見)
広畑ふれあいプラザ	コロナの予測が難しい中、急いで計画を作る必要があるのか。	質問	来年度の5月末には策定したいと考えています。
	広畑小学校は大根小学校との統合の可能性が否定できないので、そういうことが計画に入るのであれば地域への説明を端折るわけにはいかない。話し合いの場があまり持てない中で、再配置計画の策定スケジュールを決めてしまうのはどうかと思う。	質問	今回のフォーラムを経て、第2期計画の素案を作り、来年の春ごろにはまたフォーラムを開催して意見をいただいて計画を策定していくことを考えています。
	希望があれば学校や地域に伺うとあるが、市からお願いしてそのような場を設ける必要があるのではないか。	質問	次のフォーラムの開催については、いろいろな方法を検討していきたいと思います。
	大根幼稚園を大根小学校に入れるという話はなくなったが、広畑小学校が大根小学校と統合するとなれば、幼稚園よりも大きな問題になる。市にもっと積極的な姿勢が必要だと思う。	意見	

会場	意見等の内容	種別	市の回答
	施設は廃止してもコミュニティは維持していくとのことだが、将来広畑小学校が大根小学校と統合する場合、拠点としての考え方はどうなるのか。大根小学校周辺では距離的な問題もある。	質問	他の会場でも交通手段の確保というご意見はいただいています。現在は小学校区を中心に拠点としていくイメージですが、この方向性について地域の皆さんのご意見を伺うために、フォーラムを開催したものです。
	公がやることに限らないが、廃止された施設の後は何ができるのか、方向性を示してほしい。	意見	
	広畑小学校が大根小学校と統合される前提で質問が出ていますが、10年前のイメージではそうではないように見えます。	質問	現在の計画では13ある小学校区の学校は全て残していく方向性です。今後の方向性については今お話しできる段階ではなく、この検討に当たって今ご意見をいただいている状況です。
	今の計画は学校を減らさない方向だが、次の計画では減らしていく可能性がある、ということはこのフォーラムで説明しているのか。	質問	今回のフォーラムでは、次の計画や方向性がありき、という中で開催しているわけではなく、ご意見を聞いて次の計画を考えていく、ということですので、次期計画の方向性などは特に説明をしておりません。
	学校は教育の場なので、集団性の確保の観点などの教育的視点は教育委員会の考えとなる。どのように調整して行くのか。	質問	教育委員会と調整を図っていますし、今後も図っていくこととなります。学校につきましては、基本的に教育委員会の考えを再配置計画に反映させていくことになると考えています。
	広畑小学校の校舎は耐震工事によって維持している状況なのか。	質問	築年が昭和50年なので、標準的な耐用年数まではあと15年ほどあります。旧耐震の建物ですが耐震の対応は完了しており、古いといっても危険があるわけではありません。
	少人数学級が実現する場合には教室が足りなくなると思うが、どうしていくのか。	質問	国がそのような方向を決めれば対応していく必要があると思いますが、非常に難しい問題だと考えています。 少人数学級の具体的な内容がはっきりしませんが、仮に今と同じ規模の学校面積が必要となった場合には、その他の施設の多くが残せなくなる可能性もあります。
	広畑小学校が全学年1クラスとなっているから統合などの考えも出てくるのだと思うが、学区を再編すれば複数学級とすることは可能だと思う。少人数学級の可能性を考えたらこのほうが柔軟性があると思う。	意見	

会場	意見等の内容	種別	市の回答
	今の学区のままでは広畑小学校に子どもは増えない。学区の変更はこれまでもあったと思うので、広畑小学校を残すのであれば、学区の再編も考えてほしい。	意見	
	広畑小学校の保護者は統合になるとは考えていないので、もしそのような方向性になるのであれば、理解を得る努力をしてほしい。	意見	
	行政計画として策定するのであれば、コロナ対策や少人数学級のことなど、不確定要素が多いので、再配置計画の策定を延期したほうが良い。	意見	第2期基本計画は10年間の期間ですが、実行プランは5年ごとに見直しますので、社会情勢の変化などがあれば後期実行プランでの見直しが可能です。
	広畑小学校を統合するような計画を出した場合、地域は大騒ぎになる。騒がしいにおいて、少人数学級が制度化されたら撤回、ということでは地域が振り回されるだけになってしまう。よく考えてほしい。	意見	
大根公民館	北矢名児童館は自治会での会合や高齢者も利用している。小田急の北側なので、公民館に機能移転されても利用しづらい。できれば今の場所に建て替えてほしい。また、建て替えが無理でも雨漏りもあるので補修してほしい。	意見	10年前のイメージでは建て替えの予定はなく、建て替えることは難しい状況ですが、地域の方のご意見などもお聞きしてよい解決策を見つけていきたいと考えていきます。
	北矢名は6つの自治会があるが、4つが鶴巻学区、2つが大根学区となっている。再配置に合わせて学区も見直してほしい。	意見	
	学区再編のなかで、自治会とは異なる区分けとなっている学校がある。広域避難場所も異なっている。地区の境付近では地理的に仕方がない面があると思うが、分かりにくい部分がある。	意見	
	再配置計画によって学校にいろいろな機能が移転され、地域の方が学校に入ってくることは、子どもたちが地域の方と接する機会として活用できれば良いと思う。	意見	
	人口減少ありきの資料だが、あの学校に行きたい、だから秦野市に住みたいとなる、光り輝く未来となるような将来像が必要だと思う。	意見	再配置計画で整備していくハード面だけではなく、ソフト面での充実によるところが大きいと思います。この点については、地域や学校と意見交換していく中で作り上げていく必要があるのではないかと考えています。
	大根幼稚園は一時期小学校に移転する話がありました。具体的な話があれば意見が出るかもしれませんが、今の段階で特に意見などが出ているわけではありません。	意見	

会場	意見等の内容	種別	市の回答
	学校も同じです。直接影響を受けることになると、いろいろな意見が出ると思います。	意見	今のイメージは 40 年後の姿として示していますが、「いつ」という時期がはっきりしていませんので、地域の皆さんも具体的に考えづらい面があると思います。次の計画では集約の時期なども明らかにして、改めてご意見を伺いたいと考えています。
	上幼稚園の話がありましたが、詳しく教えてほしい。	質問	小学校の一部に幼稚園を移転して一体化しています。基本的な動線は区切られています、一緒に授業を受けたり、幼稚園にも給食が出たり、といった形となっています。
	試算によると年間の不足額が約 10 億円なので、今の施設を活用してこの不足を収入として稼ぐことも考えてほしい。	意見	
	開放型自治会館が児童館機能を持つということだが、施設の管轄も異なり、該当自治会以外のこどもは使いづらいなどの影響もあるのではないか。	質問	他の会場では、児童館や老人いこいの家について、高齢者も自治会も使うので残してほしいという意見が多くありました。多目的に使える施設として考えていく必要もあると感じています。
	こどもが自由に遊べる場所は本来もっと増やすべきで、安心して子育てができる環境の秦野市であってほしい。	意見	
	再配置計画を考える前に、秦野市がどんな市を目指しているのかぜひ知りたい。 結果として 12 万都市になるのか、12 万の都市を目指すのか、秦野市の今後があまり見えない。 その目指す方向が分かれば、再配置による跡地利用をどうするのが見えてくるのではないか。	意見	(意見提出用紙による意見)
鶴巻公民館	サンライフ鶴巻は今後どうなるのか。	質問	イメージではおおね公園等で機能を補完して建て替えはしない方向となっています。体育室の機能は大根鶴巻地区で唯一の機能なので、どのように残していくのが課題だと考えています。また、借地のため、現在の位置に施設を残していくことは考えづらい状況です。
	災害時の避難所は再配置後も維持されるのか。	質問	避難所については他の会場でもご意見が出ています。施設が減った時に避難所としての機能をどのように確保していくのか検討していく必要があると考えています。学校だけではなく公民館や県の施設の活用なども考えてほしい、というご意見もいただいています。

会場	意見等の内容	種別	市の回答
	宮永岳彦美術館は移転することになるのか。	質問	<p>今の計画では、小学校区にカルチャーパークと保健福祉センターを追加した15のエリアを拠点としています。美術館の記載にある「全市的対応エリア」とは、カルチャーパークエリアのことで、計画策定当初は文化会館や図書館の建て替えに合わせて移転する想定だったと思われます。</p> <p>美術館は建設に当たっての約束事もある中で、明確な方向性が今現在で決まっているわけではなく、温浴施設との関係なども含めて検討していく必要があると思います。</p>
	9ページに「一元的なマネジメント」とあるが、意味を教えてください。	質問	<p>公共施設はそれぞれ所管課が管理していますが、再配置を進めるには所管課だけでは難しい面があるため、横断的に施設を把握して進めていく必要があります。これを「一元的なマネジメント」としているものです。現在は、この部分を行政経営課が担っています。</p>
	北矢名児童館は地域への移譲がイメージされているが、なかなか移譲が進まない理由は何か。	質問	<p>小規模地域施設である児童館を自治会としても利用されていますが、会員数が少なく自治会費が高騰している自治会では、受け取っていただくことが難しい面があることがその理由と考えています。</p>
	大根公民館は遠いので、北矢名児童館は、児童館の機能をそのままというよりは、自治会館としての機能を残してほしい。	意見	
	説明の中で、公共施設の一般財源の市民一人当たりの負担額の話があったが、平等に負担している分、平等に配分される必要があると思う。	意見	
	単独の児童館や鶴巻公民館にある児童室には、市の職員が常駐しているということなのか。	質問	<p>全ての児童館には市が職員を配置しています。同じく小規模地域施設である老人いこいの家は指定管理者制度となっているため市の職員ではなく指定管理者が管理しています。</p>
	開放型自治会館について、鍵の受け渡しや予約などの面で管理人の選出が非常に難しい。開放型でなければそれほど負担ではないのですが、そのような実態がある。管理人は基本的に無報酬である。	意見	
	開放型自治会館について、問い合わせがあっても利用に結びつかない場合も多い。使用する団体は趣味の団体は少ないイメージ。	質問	<p>同じような課題は堀川公民館でもご意見としてありました。関連する課にも情報提供していきたいと思います。</p>

会場	意見等の内容	種別	市の回答
	開放型自治会館に市の管理人を置くことができないのか。	質問	自治会館なのでそれはできません。
	私のところの自治会は数年前に開放型自治会館に建て替えたが、近所の自治会に貸したり、おおね公園のプールの管理人の講習会で5日間ほど使われたことがある。管理人は自治会館管理担当の役員がやってくれているが、大きい自治会ほど難しい面があるのではないか。	質問	予約の関係や鍵の受け渡しが課題だと認識しています。今後デジタル化が進む中で解決策も出てくると思いますので、所管課にも伝えていきます。
	利用者のほうからも、鍵の受け渡しの面倒もあって、遠慮している面があると思う。	意見	
	サンライフ鶴巻について、3,4年前に廃止ということが新聞等で発表になったと思うが、それに基づいて再配置を進めているのか。	質問	数年前にそのような発表をしたところはないと思います。元々計画は10年前に策定していて、サンライフ鶴巻は統廃合していく施設と位置付けられています。この方向性を次の計画に向けて考えていきたいということでフォーラムを開催しています。
	サンライフ鶴巻は廃止ということではないということなのか。	質問	現在の計画では、具体的にいつ廃止等になるのか決まっているわけではありません。地域の皆さんがどのように考えているのかをお聞きしていく中で、次の計画の素案を作りたいと考えています。
	サンライフ鶴巻について、公民検討の引き受け手が具体的に決まっていなないのであれば、借地であることも考えると、おおね公園や鶴巻公民館で機能補完して廃止、という方向性は理解できる。	意見	
	つるまきこども園は小中学校に機能移転となっているが、具体的にどうなるのか。	質問	幼稚園とこども園という違いはありますが、上小学校と一体化している上幼稚園と同じです。敷地が同じということではなく、建て替えに合わせて小中学校にこども園を入れていくイメージとなります。
	本日はじめてこんな計画が策定されていることを知りましたので、意見を述べるには至りません。	意見	(意見提出用紙による意見)
南公民館	子どもの安全確保のためには、小さな施設を分散したほうが良い。お金の大変さで説明されているが、子どもをどう育てていくのか、その方向性があつたほうが良いと思う。	意見	小さい子どものための施設は児童館のほか、ポケット21もありますが、どこにどんな施設があるのかを見ながら進めていく必要があると考えています。
	開放型自治会館は、市の経費を自治会に負担させるように見えてしまう。開放型になった時のメリットを検討したうえで、目的を明確にするべき。	意見	他の会場でも開放型自治会館について厳しいご意見をいただいていますので、所管課に伝えます。

会場	意見等の内容	種別	市の回答
	今の計画は、コロナ対策がない時期に策定されているが、課題を取り込んで策定してほしい。	意見	再配置計画は 40 年間で用意できる金額を変えずに建て替えを進めていくもので、必然的に床面積を削減していくこととなります。これは、社会保障関係経費やコロナ対策など、ほかの事業に充てる費用を確保していく意味もあります。
	開放型自治会館とはどのようなものなのか。管理は誰がするのか。	質問	貸館機能を持っている自治会館のことで、管理は自治会となります。管理人は常駐ではなく、近所の方が受付や鍵の受け渡しをしているところが多いと聞いています。また、沼代自治会館などの児童館機能を併設しているところは、厚生員が管理人の役割を担っているところもあります。
	自治会の在り方が問題になっている中で、さらに負担を求めることは難しいと思う。	質問	床面積削減の影響を最小限にするため、廃止した施設を開放型自治会館として地域に残してもらいたい、という考えで進めています。建て替えや改修の補助金を手厚くしていますが、自治会の状況などを踏まえて、この先の方向性を考えていく必要があると思います。
	10 年前にも同じ説明だったが、行政は何をしてきたのか。もう秦野には住めない、という気持ちになった。秦野は上下水道も自前のためほかにかかるお金がない。行政には、財源確保のためにもっと知恵を絞ってほしい。	意見	
	南公民館の建て替え時期が 2030 年となっているが、その時に建て替えるということなのか。	質問	この時期を目安に建て替えを考えていくこととなりますが、南公民館については、小学校の建て替え時期と異なっているため、どのように建て替えていくのか検討していく必要があります。
	南公民館の建て替え時期がはっきりするのはいつか。	質問	フォーラムでいただいた意見を参考に、それぞれの施設について方向性を示した素案を春頃にお示しできればと考えています。
	公共施設は避難所になっているので、減らしていくと大変なことになる。避難所のことも計画に入れてほしい。	意見	ほかの地区でも同じようなご意見をいただいていますので、検討していきます。
	維持管理等にも多くの費用をかけているが、民間委託などを進めていくべきだと思う。	意見	現在、所管課と連携して指定管理者制度等の導入に向けて進めています。管理運営費が大きく削減できるかどうかはまだ不明ですが、市民サービスの向上や職員配置の見直しなどの効果も見込んでいます。

会場	意見等の内容	種別	市の回答
	<p>小さな公園がたくさんあるが、ボール遊び禁止などもあって子どもは遊んでいない。自治会で草刈りもしているが、意味があるのか。こういうところを削減すれば費用が生まれると思う。</p>	意見	
	<p>南小学校は現状で生徒数が1,000人を超えるが、そこへさらに他の小学校からの転入生や他の施設の統合ということを行えば、あまりにも面積が足りないと思う。</p>	意見	(意見提出用紙による意見)
	<p>新しく人に入ってきてほしいのかどうか、ここを明確にすべきだと考えた。</p>	意見	(意見提出用紙による意見)
	<p>南公民館の改装については、高齢化に向けた対応を。</p>	意見	(意見提出用紙による意見)
	<p>地域コミュニティの拠点となる施設について、公民館等はクールスポット等、地域の方や通りがかりの方が自由に気軽に立ち寄れる場所であってほしいのですが、学校施設と集約された場合の安全面について知りたいです。子ども達が事故や犯罪に巻き込まれることのないようお願いしたいです。</p>	意見	(意見提出用紙による意見)
	<p>市全体としての充実も必要とは思いますが、高齢化が進み自力での移動が困難になる方も増えて行きます。各地区ごと、徒歩圏内で日常生活の用事を済ませることのできるようになるとよいです。</p>	意見	(意見提出用紙による意見)
	<p>第1期の「計画」の評価・総括では、どこが良かったのか、悪かったのか。改善点があったのか、なかったのか。本来ならば今回の「公共施設フォーラム 2020」素案を策定する前に総括し、新規計画案と並行して市民に示すべきではなかったかと思う。第1期の「計画」の「評価」や「総括」の用意があるならば、ホームページ等で即時に公表していくべきだ。</p>	意見	(意見提出用紙による意見)

会場	意見等の内容	種別	市の回答
	<p>①悲観的な「40年後の不安」を基本方針とする「公共施設再配置計画」ではなく、安全で安心できる公共施設の40年間の維持管理を主体とした計画で、本市独自の新しい「公共施設の再配置」に取り組んでいただきたい。</p> <p>②予定では「秦野市公共施設保全計画(仮称)」が来年度4月1日から始まる。しかし、この「計画」は「公共施設フォーラム2020」に反映されていない。本来、「公共施設フォーラム2020」の9ページにある〈方針4〉「計画を進めるための5つの視点」に「秦野市公共施設保全計画(仮称)」の考え方を活用していくべきである。一方、他の地方自治体の公共施設の管理運営の事例では、「国土交通省 官庁営繕・建築保全業務共通仕様書及び建築保全業務積算要領」を指針として、建築基準法の「12条点検」や劣化度調査、簡易点検等を取り入れた長期修繕計画、長寿命計画を策定している地方自治体が少なからずある。是非、本市も旧来の考え方を転換し、新たな「公共施設」の管理運営に取り組むべきであると考えます。</p>	意見	(意見提出用紙による意見)
南が丘公民館	小中学校の統合によって、地域で子どもを育成している面もある、野球やサッカーなどの子どものスポーツ活動に弊害が出ないように検討してほしい。	意見	今の計画で示している「統合」は施設の一体化です。今後については、教育委員会と調整を図ることはもちろんですが、今のようなご意見も参考にしながら方向性を定めていきたいと考えています。
	西大竹児童館は、南が丘公民館に機能移転となっていますが、距離的に遠い。分散した施設配置として、大学との連携による運営なども含めて検討してほしい。	意見	
	秦野では、子ども達の成長のために児童館を設置してきた。再配置計画では古くなった児童館を建て替えずに、その機能をなくしていくものだと思う。今の児童館の運営や利用の状況を把握しているのか。放課後に子ども達がリラックスして活動できる場所と聞いているが、このような場所がなくなってしまうのかどうか心配している。	質問	子どもの減少により、児童館というよりも自治会館的な機能で多く使われているところもあるなど、地域によって状況は異なっていると思います。また、将来的には個別の施設をそのまま建て替えていく余力がないため、多機能型で建て替えていく、としているものですが、地域の状況なども考慮して考えていく必要があります。
	子どもは減っているが高齢者は増えている。ただ、高齢者の部分は公ではなく民で担っている。児童館は本来の目的としてあまり機能していないと思うので、高齢者施設が児童館機能を持つという考えがあって良いと思う。	意見	現在も多世代で利用している実態はあると思います。このように広く使ってもらえるような形が理想ではないかと考えています。

会場	意見等の内容	種別	市の回答
	開放型自治会館で児童館機能を実施する場合、費用は自治会持ちで、さらに多くの人を利用するため安全安心面での心配もある。	質問	開放型自治会館で児童館機能を実施している時間には、児童館来館者以外の外部の方の利用はないと思います。開放型自治会館に関する課題は他の会場でも出ていますので、所管課に伝えます。
	防災の拠点としての小中学校の機能について、複合化していく中での避難所機能の確保について考えはあるのか。	質問	施設が減ることで拠点が減るほか、距離が遠くなるなどの問題もあり、課題としてとらえています。他の会場でもご意見をいただいていますので、所管課とも調整していきます。
	10年の計画だが、目まぐるしく状況が変わる今の時代を考えると、計画期間が長すぎるのではないか。	質問	基本計画は10年間ですが、実行プランは前半後半の5年間で策定しますので、大きな変化があれば後期のプランで見直しを図ることとしています。
	児童館が廃止になるということだが、今現在どのような利用状況なのか。	質問	この地域の西大竹児童館は年間で約4,000人の利用で、児童館平均の約5,000人よりも少ない状況です。どこの児童館も、本来の使われ方よりも自治会館的な使われ方が多くなっていると聞いています。
	子どものときに体力をつけておくと将来まで健康に過ごせ、医療費が抑制できる。福岡県片山町が九州大学と連携して40年間全市民の健康データを取っていると思うが、公民館の有料化前後のデータを同じように比較する必要があるのではないか。	質問	秦野市では、使用料見直しの際に高齢者と子どもの共用利用を無料としています。また、高齢者の公共施設の利用状況と医療費の関係を調査した結果を見ると、公共施設をよく利用する人ほど医療費が高い結果となっています。また、あくまでも簡易な調査によるものですが、近隣の無料の自治体との比較では、施設の有料無料と医療費には相関関係がないという結果も出ています。
	西中学校の多機能型体育館が立派にできましたが、冷暖房のない施設だそうです。避難所としての使用などに耐えられるか心配です。また、音響環境も非常に悪かったです。時代に合う施設が必要だと思われます。	意見	(意見提出用紙による意見)
	幼稚園が公民館検討ということは、いずれ公立幼稚園が無くなるということでしょうか。	意見	(意見提出用紙による意見)

会場	意見等の内容	種別	市の回答
	今後の維持管理費の増加により、財政がひっ迫する想定のため、統廃合はやむを得ないと考えます。	意見	(意見提出用紙による意見)
	各施設を集約した複合施設にハコモノを集めてはいかがか。	意見	(意見提出用紙による意見)
	何時発生するかわからない災害を減災するための公共施設として利活用する公共施設は残していただきたいのですが、他の代替施設は検討しているのか。	意見	(意見提出用紙による意見)
直接寄せられた意見	<p>先日公民館でフォーラムに参加したが、この計画が広く市民の間で議論されてきたものではないと感じた。一つ一つ細かく検討されたものではないと思う。こんなことは簡単で誰にでもできること。何が重要であり、そのためにはどうするかを考えてもらいたい。公民館が果たす役割は様々な面で住民にとって大切ではないか。責任ある対処をしてほしい。</p> <p>公共施設の縮小、業務委託化などは政府の方針であり、現内閣はデジタル化により職員を減らし、一層のサービス低下を計画している。住民にとって一定の役割を果たしている公民館は人が生きていくのに必要な地域のコミュニティを凶れる場であり、人口減少であっても激減しているわけではない。政府の方針をそのまま聞き入れていくと貧しい市になってしまう。</p> <p>東公民館の場合、調理室が使われていないという話だが、災害時には炊き出しの拠点になるなど重要な役割を持つ。避難場所にもなるので、各地にそういう場所を増やさなければならないのではないか。</p>	意見	(意見提出用紙による意見)

秦野市公共施設再配置計画 第2期基本計画

令和3年(2021年)5月 初版第1刷 80部発行

編集・発行

秦野市政策部行政経営課

〒257-8501 神奈川県秦野市桜町一丁目3番2号

TEL0463-82-5102(直通) FAX0463-84-5235

E-Mail keiei@city.hadano.kanagawa.jp